

# 地域おこし協力隊



高齢者になっても  
元気に暮らす村づくり



1 月29日にやまゆりセンターで開催された特別養護老人ホーム建設についての説明会に参加してきました。

高齢化と共に要介護認定を受け人が増えていく将来。介護保険料がどのように変化し、道志村に特別養護老人ホームを建設することで生じるメリット・デメリットを説明いただいたき、とても勉強になりました。

私が高齢者になるのは、まだ先の話です。しかし、「足揉み」を通じて健康管理、疾病予防に少しでもお役に立てればと考えております。そうすることで、高齢者になっても元気に暮らす村づくりが出来ればと思います。(井口陽介)

ミニチュアキッチン  
作りイベント開催



3 月22日(日)に開催のみなもと体験館の月一イベントはミニチュアキッチン作りです。

2歳から5歳くらいの子供が遊べる高さ50cm幅60cm奥行24cmのおもちゃです。池谷木工さんに挽いてもらった道志産サワラを使ったぜいたく仕様です。これから当日に向けてカンナ掛けや小物の製作などオリジナルキット作りをみなもと体験館のスタッフと一緒にしています。

みなもと体験館には私から提案した4つの企画を採用してもらいました。やってみて初めて新しい企画を実施する難しさを体験することができました。来年度はこの体験を元々モノ作りの技術と教える技術の両方を向上させたいと思います。(千々輪岳史)

猟師体験イベントの開催!



みなもと体験館の1月イベント「アニマルトレッキング&ジ

ビエを味わう」を協力隊との共催の形で開催しました! ケモノの痕跡を追って、猟師目線での山歩きを体験するというイベントです。当日は親子連れをはじめ、幅広い年代の方にご参加いただきました。

このイベントを開催するにあたって、猟友会の方々には大変お世話になりました。ご協力いただけたからこそ当日を迎えることができました。ありがとうございました。

ケモノの痕跡を見つけた参加者の方々の好奇心が溢れるような表情や猟師さんのお話に深く納得した様子、ジビエ料理を食べての「おいしい」という言葉を見聞きしてとても嬉しくなりました! 奥深い狩猟の世界を紹介するいい機会となりました。(中島拓哉)



当日は雪上に残るシカの足跡が見られました

1 月24日、山梨防災会館で開催された「森ガール・木質バイオマスフェア」に参加しました。県内の木質バイオマス導入事例紹介などの発表があるなか、「木こり女子の挑戦!」というタイトルで、道志に間伐など森林体験に訪れている方々と一緒に、道志の森について話をしました。話を聞いてくださった方々からは質問や感想を頂き励みになりました。山林関係の活動は女性であるというだけで注目されますが、ものめずらしさだけではなく関心を持ってもらえるような活動をしていきたいと思いました。(香西恵)



今 回の道志手帖では「炭焼き」を特集します。今は廃れてしまった炭焼きの技術も、昭和30年代頃までは道志村でも養蚕と並ぶ花形の産業でした。しかし、実際のところ、木をどのように運ぶのか、炭をどのように焼くのか、どのように炭を出荷するのかなど、わからないことばかり。今回、炭焼きを長年経験された方にお話を伺い、取材をさせて頂きましたが、その内容には驚きと尊敬を隠せません。道志手帖にてご紹介させて頂きます。(大野航輔)



今 回の道志手帖では「炭焼き」を特集します。今は廃れてしまった炭焼きの技術も、昭和30年代頃までは道志村でも養蚕と並ぶ花形の産業でした。しかし、実際のところ、木をどのように運ぶのか、炭をどのように焼くのか、どのように炭を出荷するのかなど、わからないことばかり。今回、炭焼きを長年経験された方にお話を伺い、取材をさせて頂きましたが、その内容には驚きと尊敬を隠せません。道志手帖にてご紹介させて頂きます。(大野航輔)